

2. 北海道ブロックの将来イメージ

北海道は、広大な国土を有していることから、「道南」「道央」「道北」「オホーツク」「十勝」及び「釧路・根室」の6つの圏域に区分し、各地域の特性や恵まれた資源を活かした施策を展開し、互いに連携しながら個性的な発展を目指していきます。



《オホーツク地域》

- 広大な畑や地域資源を生かした農水産業の発展を図ります。
- 流水などの多彩な地域資源を生かした観光の展開を支援します。
- 世界遺産候補地である知床をはじめとする自然環境の保全を進めます。
- 網走湖等の水質改善など、自然との共生を図る総合的な事業を推進します。



《道北地域》

- 収益性の高い農業や水産業等の発展を図ります。
- 離島等の条件不利地域における交通アクセスの改善を図るとともに、農山漁村景観を生かした観光地の形成を推進します。
- 十勝岳周辺での火山対策を推進するなど、災害に強い地域づくりを進めます。
- サハリン州と隣接する特性を活かした国際交流拠点の形成を図ります。



《道央地域》

- 産学官の連携による技術開発を進め、各種のネットワークの形成を支援します。
- 歴史と文化を尊重したまちづくりを進めます。
- 新千歳空港等の整備を進め、国際的な観光地の形成を図ります。
- 土砂災害や浸水被害を防ぐための防災・治水対策を推進します。



《十勝地域》

- 大規模で生産性の高い畑作や酪農等の振興を図ります。
- 流通・加工及び観光との連携による産業の活性化を図ります。
- 農村景観や自然環境を生かした体験型観光やスカイスports等の展開を支援します。
- 自然公園の整備などにより多様なライフスタイルの実現を目指します。



《釧路・根室地域》

- 酪農や漁業の展開を支援し、環境保全型食料基地の実現を目指します。
- 港湾等の拠点機能の整備とアクセス向上を図り、物流機能の高度化を促進します。
- 釧路湿原や知床を始めとする優れた自然環境を生かした観光振興を図ります。
- 自然との共生を図るため、湿原や河川の再生に係る事業を進めます。



《道南地域》

- 歴史・文化遺産等を活用した観光拠点開発を進めます。
- 地域資源を活用した産業の展開を図ります。
- 駒ヶ岳火山地域の総合的な防災対策など、災害に強い地域づくりを進めます。
- 日本海沿岸地域や離島における交通アクセスの向上等を促進します。

